

2024年度「医療機関ニーズ対応型開発補助事業」（札幌市補助事業）補助金交付決定事業者一覧

No.	事業名称 および 事業概要	企業・団体名
1	間欠動作が可能な低圧持続吸引器の製品開発 長時間に渡る手術患者の口腔内分泌物（痰や唾液等）の吸引手技に関し、医療機関が持つ課題点の解消やニーズに基づき口腔内分泌物を自動で間欠的に吸引する機器を開発し、手技を最適化すると共に効率化も図り医療従事者の負担を軽減する。なお当該機器は、在宅医療や療養あるいは小児慢性期病棟等での使用も目論む。	エア・ウォーター・ライフサポート株式会社
2	大腸検査用前処置判定アプリの臨床評価と一般診療への導入 大腸内視鏡検査当日に腸管洗浄液を服用し、腸洗浄を行う必要がある。本人あるいは医療従事者による腸洗浄度の目視判定ではなく、スマートフォンのカメラで排泄物を撮像することにより自動判定できる AI アプリを試作した。本事業では試作したアプリの一般診療への導入を目指し、追加開発と臨床評価を行う。	株式会社システム・ケイ
3	介護連絡・申し送りアプリ「Contact Book」 介護現場における DX 化を促進し、記録業務や申し送りの共有・ご家族への連絡を電子化する事により、介護事業所としての業務効率化・経費削減・スピーディな情報共有の実現により全国の介護施設における介護施設運営と経営の安定化と人手不足によるサービス低下を防ぐことを最大の目的としたクラウドサービスの改良の実施。	株式会社 NEXT INNOVATION
4	介護用オリジナルガウンの開発および普及プロジェクト 当社は介護施設からの要請を受けて、モーニングケア（特に寝間着から洋服への着替えの手間）の負担を軽減すべく介護用オリジナルガウンの開発、普及に取り組んでいる。今回の事業では（一社）全国介護事業者連盟北海道支部と連携し、当ガウンの普及に向けた実証試験に取り組むものである。	北海道パラコン株式会社
5	通院患者の在宅中睡眠品質・無呼吸を可視化する仮想センサの評価 問診のみで通院患者の在宅中の睡眠品質・無呼吸を把握するのは困難。ミルウス開発の仮想センサはリストバンドと高度信号処理・AI 処理を組み合わせることにより日常のメンタル・バイタル・ライフを測定可能。本事業では、仮想センサの 20 名の生活習慣病通院患者および 10 名の SAS 疑い患者を対象に睡眠品質・SAS リスク検出精度を測定する。	株式会社ミルウス

※五十音順

◆応募件数 10件

◆採択件数 5件

◆補助金総額 5,000千円